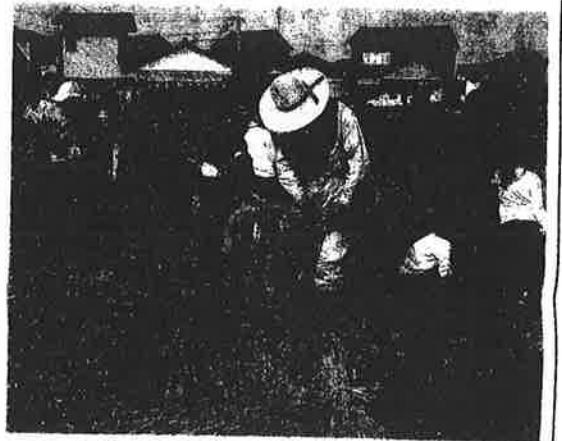


アジア・アフリカ支援 食とみどり・水を守る
 米の稲刈りが18日、滑川 富山県民会議の会員と方
 市坪川で行われ、約20人 ールスカウト県連盟第33
 が早生種「てんたかく」 団の団員が4月に植えた
 を収穫した。写真。来年 稲を力マで刈り、はさに
 干した。水
 田所有者の
 藤井宗一さ
 ん(65)が米
 1月末から2月までの間 の大切さを団員に説き、
 に、アフリカのマリ共和 今年は高温続きのため、
 国に約210キが送られ 収穫が昨年より1週間早
 くなった」と話した。

マリ共和国へ 支援米刈り取り



稲刈りをする子どもたち 滑川市坪川

マリへの支援米
 子どもら稲刈り
 8/9朝日 滑川
 アフリカ・マリ共和国へ
 の支援米の稲刈りが18日、
 滑川市坪川の藤井宗一さん
 (65)の水田であった。ガール
 スカウト県第33団の小学
 1年〜中学1年の子どもや
 保護者計10人が参加し、爽
 やかな汗をかいた。
 支援米は「食とみどり・
 水を守る県民会議」(中松
 清孝議長)の活動で、同市
 では12回目。4月末に地元



の保育園児が田植えをして
 いた。3・7㍓の水田には
 早生品種「てんたかく」が

実り、この日は午前8時半
 過ぎから、強い日差しにな
 か稲刈りが始まった。

アフリカのマリに
 贈る支援米稲刈り
 ガールスカウト団員ら
 食糧難に苦しむアフ
 リカ・マリ共和国に米
 を送ろうと、滑川市のガール
 スカウト県第33団の団員らが
 18日、同市坪川の農業 藤井
 宗一さん(65)の田んぼで稲刈
 りを体験した。
 アジアやアフリカに支援米
 を送る運動に取り組む「食と



みどり・水を守る富山県民会
 議(中松清孝議長)が実施
 しており、同市内での稲刈り
 は12年目になる。この日はカ
 広さ3・7㍓の田んぼで、
 わせ品種の「てんたかく」を
 鎌で刈り取り、はざ掛けして
 いった。一部の稲は19日に同
 市内の園児が刈り取る。
 米は来年1〜2月ごろ、現
 地に届けられるという。
 支援米を収穫するガールスカウト
 の団員

子どもたちは慣れない手
 つきながら一生懸命に刈っ
 ていった。次第に慣れた
 手つきになった中学1年
 の岡本萌さん(12)は汗をぬ
 ぐって「ケガをしないよう
 に気をつけています」。指
 導した大人たちは「覚える
 のが早い」と感心してい
 た。
 収穫見込みは210キほど
 全量を来年1〜2月ごろ、
 マリへと送る。中松議長は
 「食べ物のありがたさと、
 国際協力の大切さの両方を
 学んでほしい」と話した。

(下山祐治)

●食の安全はそっちのけで輸入拡大—米国の要求

◆ポテトフライの大腸菌検査ダメ



◆BSE牛の全月齢認めろ



◆赤身肉の禁止添加物認めろ



◆食品添加物52種類認めろ

